

「写真測量とリモートセンシング」執筆要領

1. 使用する言語は日本語及び英語に限る。
2. 投稿原稿の題目には、「その1」あるいは「(I)」などの順番を示す数字を含めない。すなわち、投稿原稿1編で完結した原稿とする。ただし、学会から依頼する原稿はこの限りではない。
3. 原著論文・技術報告・研究速報・解説の場合、査読のため、著者名および所属は投稿原稿からは外し、原稿送付状にのみ記載する。また、通しの行番号をつける。謝辞についても査読用原稿からは外すこととする。
4. 原著論文・技術報告・研究速報・解説には、概要（要旨）を付けなければならない。日本語による論文には、英文概要を付けることとし、100語から200語を標準とする。和文概要は不要とする。なお英語による論文は、和文概要を付けることとし、300字から400字を標準とする。
5. 章番号は「1, 2, 3, …」、節番号は「1.1, 1.2, 1.3, …」、項番号は「1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, …」とする。ただし、謝辞、脚注、参考文献には数字をふらない。
6. 原著論文・技術報告・研究速報・解説には、原則としてこれに深く関連する参考文献を当該原稿の末尾に掲載しなければならない。日本語原稿の場合、日本語の参考文献を50音順でまとめて先に、英語の参考文献を後にアルファベット順に掲載する。また、同じ著者のものは年代順に、同じ著者の同一年のものは引用順に（2000a）などのように、a, b, c…を付ける。記載項目は以下の例に従うこととする。なお、本文中に引用する場合は、著者名、発行年を明記することとする。また、著者が2名以上の場合は、「ら」「et. al.」で省略する（例：赤坂（2000）は…、…としている（Smith, 1987a）。織田ら（2004）では…、…としている（布施ら, 2012)）。なおWebページの引用において、著者名の無いものは、組織名あるいは題目の一部などを記載し、accessした年を明記する。

① 雑誌中の論文の場合

赤坂和彦, 2000. リモートセンシングの今後の展望. 写真測量とリモートセンシング, 41(1), 23-45.

織田和夫, 高野忠, 汪平涛, 大鋸朋夫, 土居原健, 柴崎亮介, 2004. レーザスキャナデータと航空写真のフュージョンによる都市3次元モデルの自動構築. 写真測

量とリモートセンシング, 43(5), 16-23.

Wang, J., 2003a. Three dimensional measurement from space for monitoring deforestation. *Photogrammetria*, 42(1), 12-23.

- ② Fuse, T., Kamiya, K., 2017. Statistical anomaly detection in human dynamics monitoring using hierarchical Dirichlet process hidden Markov model. *IEEE Transactions on Intelligent Transportation Systems*, 18(11), 3083-3092. 単行本の場合

小林達, 2001. 新しい写真測量, 平成書店, 東京.

村井俊治, 近津博文, 2004. デジタル写真測量の理論と実践. 日本測量協会, 東京.

King, J., 2001b. *Remote Sensing for Global Environmental Studies*. Elsevier, Amsterdam.

- ③ 編著図書の場合

佐藤幸次郎, 1980. 空中写真と衛星画像. 写真技術 (田中二郎編著), 昭和書店, 大阪, pp. 63-82.

- ④ Web ページの場合

国土地理院, 2017. UAV を用いた公共測量マニュアル (案),

<http://www.gsi.go.jp/common/000186712.pdf>. (2018年1月16日確認)

Estes, T., 1999. Report on the ISPRS WG VIII/8 Workshop "Global Environmental Monitoring", Stuttgart, Germany.

<http://www.ngdc.noaa.gov/seg/tools/gis/isprs48.html> (accessed 12 Sep. 2003)

7. 図、表および写真には、これらの図番号等を付け（例：図1、表1、写真1、Figure 1, Table 1, Photo 1）、別紙にまとめた上、標題付き一覧表を添付する。
8. すべての提出原稿では、原則として国際単位（SI）を用いる。ただし、重力単位の併記を認める。
9. 掲載が決定した場合に提出する最終原稿に関する留意事項は次のとおりである。
- (1) 著者名、所属および謝辞は、最終原稿にのみ記載する。
 - (2) デジタル原稿はテキストファイル、または Microsoft Word ファイルとする。図表には Microsoft Excel ファイルを用いることができる。PDF による提出は認めない。
 - (3) 図、表および写真の大きさは、刷り上り縦 212mm、横 148mm 以内に収まるように工夫する。印刷時の画像の解像度は、デジタルデータの場合、濃淡画像では 300DPI 以上、図面等の線画では 1200DPI 以上となるようにする。また、原稿本文の右余白に図、表および写真の希望位置を指定する。

- (4) 原著論文・技術報告・研究速報・解説には、当該原稿の末尾に著者紹介を掲載することができる。著者紹介は、著者の経歴、専門分野、資格、実績、所属等を紹介するものである。掲載する場合には、送付状の規定の欄に明記の上、別紙に作成する（顔写真の掲載も可）。ただし、字数は最大 150 字とし、顔写真は刷り上り縦 30mm、横 20mm 以内に収まるものとする。顔写真はデジタルでも紙媒体でも提出可。

(平成 15 年 9 月 10 日制定)

(平成 27 年 11 月 9 日改定)

(平成 30 年 5 月 9 日改定)